たのはぐ会　会員募集のご案内

講談は、江戸文化を代表する伝統芸能にもかかわらず、身近に接する機会がなかなかありません。そこで荻窪地域を中心とする有志で多くの方に講談を楽しんで頂き、若手の講談師を応援する機会を増やそうと、日本講談協会理事 神田紅師匠を始め、若手の方々を支援する目的で結成されたのが、この『たのはぐ会(講談楽育会)』です。私たちの街『荻窪』から江戸文化の復興、そして発信のお手伝い下さる皆様を募集しております。何卒ご賛同よろしくお願い致します。

【一般会員募集】　*「荻窪講談」を楽しみながら、この話芸を守り育てるサポーターになりませんか？*

年会費:3,000円

特典:年２回の公演会へご招待(１公演に付、入場券１枚送付)

一般会員の申込み方法:

お名前、住所、電話、ＦＡＸ番号を下の記入欄にお書きの上、このパンフをそのまま、(上下半分のA4サイズに切り)

ＦＡＸ:**03-3399-2559** へお送り下さい。

後日入会手続の手順等を当会よりご連絡させて頂きます。

※入場券購入もFAXにてお願いいたします。

【賛助広告募集】　*広告出稿で「荻窪講談」をサポート、地元社会への貢献をお願いします!*

第6回公演の広告募集

１口:　5,000円　パンフレットに会社名記載(入場券2枚)

２口:10,000円　パンフレットに会社広告記載(入場券3枚)

荻窪講談一般会員加入申し込み用紙

ふりがな お名前	
住　所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

たのはぐ会 主催

第6回　荻窪講談紅の会

■ 平成25年5月9日(木)

午後5時30分開場　午後６時00分開演(8時10分頃終了予定)

■ 杉並公会堂小ホール

東京都杉並区上荻1丁目23番15号ＪＲ荻窪駅より徒歩7分

入場料 2,500円(税込)

ウェブサイト 荻窪講談 で 検索 して下さい!

ごあいさつ

荻窪講談会は今回で6回目。荻窪の皆様方にも、大分「講談」はお耳なじみになってきたのではないかと存じます。赤穂義士伝や怪談に代表される伝統話芸ですが、三尺もの（侠客伝）や孝子伝、軍記ものなど多種多彩な古典講談が伝わっています。今夜も新作も交えて講談の醍醐味を味わっていただければ幸いです。　日本講談協会理事　神田 紅

講談やってみまショー…戦う場面の決まり文句

「虚と見せては実と変わり、実と見せては虚と変わる・・・」千変万化の戦いの模様を表現した講談の決まり文句です。これだけ人前で語っても格好がつきますので、是非覚えて挑戦して下さいませ!

プログラム・プロフィール　　演　目

神田 紅

「講談やってみまショー」　6:00 ～

講談の修羅場読み体験コーナー。
会場の皆様も一緒に声を出して下さい。

真紅

平成21年6月 紅に入門。　前座修行中。

「め組の喧嘩（ぐみけんか）」

文化年間に起きた、町火消と力士たちの大乱闘。め組の四天王と力士のささいな衝突から、果ては芝居小屋、侠客、お奉行をも巻き込んだ大騒動へ。

紅葉

平成13年8月紅に入門。現在二ツ目。人生これからと50歳からの入門。
遅蒔きながら進化を続けて参ります。

「五郎正宗孝子伝（ごろうまさむねこうしでん）」

鎌倉時代、不世出の刀鍛冶と称せられた五郎正宗の幼い頃のお話。
刀鍛冶になりたいと言う孤児の五郎を弟子にしてやると引き取った行光だが・・・。

陽司

平成15年真打ち昇進。世の中のすべては講談になるはず!
「創作講談」を究めることが目標です。

「坂本龍馬（さかもとりょうま）・志（こころざし）を抱（いだ）く」

歴史上の人物で常に人気上位を譲らない幕末の英傑・坂本龍馬。貧しい武士の子に生まれた龍馬が日本を、そして世界を変えてゆく原点を陽司流に語る。

仲 入 り　　7:10 ～ 7:20

きらり

旅行添乗員を経て、平成13年に三代目神田松鯉に入門。
平成18年、二ツ目に昇進。草加文化大使としても活動。

「清水次郎長伝（しみずじろちょうでん）・羽黒の勘六（はぐろかんろく）」

街道一の大親分、清水次郎長の所へ、一人の僧侶が訪ねてきた。
果たしてその人物とは。男の中の男と言われた次郎長の男ぶりが聴きどころ。

紅

平成元年真打ち昇進。博多っ子。荻窪はお三味線のお稽古に通った馴染みの大好きな町。古典から創作講談まで、紅流に染め上げます。

「笹野名槍伝（ささのめいそうでん）より海賊退治（かいぞくたいじ）」

江戸を発って肥後に向かう風早丸という大船が、瀬戸内海で海賊に襲われる。
笹野権三郎と海賊の戦いが抱腹絶倒で面白い。二代目神田山陽お得意の演目。

8:10
終了予定